「当院における後天性血友病Aと診断・治療を受けられた症例における後方視的解析」研究へのご協力のお願い

当院では、診療・教育のほか、社会的な使命として様々な疾患の病態解明と治療法に関する研究を行っております。この研究は、重篤な出血症状を呈する難治性の出血性疾患である後天性血友病 Aは、近年報告例が増えつつあり、徐々にその存在が知られるようになってきておりますが、その頻度は年間 100 万人に 1.5 人ときわめてまれとされており、治療法は、出血時の止血治療とともにインヒビターを消失させるための免疫抑制療法を行いますが、しばしば致命的となることもあり、ステロイド無効の際の二次治療は確立されていない現状である。

本研究は、検査所見から後天性血友病Aが疑われ、当院で後天性血友病と診断しえた患者における治療と臨床的意義を、後方視的に解析することを目的としている。

本研究では、当院における後天性血友病の患者における臨床情報を集積し、後方視的に解析することを目的としています。

本研究は国立病院機構京都医療センターにおいて、研究責任者である血液内科の藤田晴之のもとで行われます。研究対象は京都医療センターを受診され、後天性血友病 A と診断ないし治療された患者さんです。研究期間は 2027 年 3 月 31 日まで予定されています。本研究は、京都医療センターの倫理委員会の承認を得て行われます。研究対象者の臨床情報を電子カルテの中から拾い上げて照らし合わせ、これらの関連について解析します。

研究の成果が専門の学術集会や学術雑誌に発表されることがありますが、あなたのプライバシーは十分に尊重され、個人に関する情報（氏名など）が当院の外部に公表されることは一切ありません。

本研究は患者さんに費用負担はございませんが、報酬もございません。もしご自分が本研究の対象者に該当する可能性があると思われる方で、本研究の対象となることに同意されない場合は、対象者から除外させていただきますので研究代表者までご連絡ください。ただし、ご連絡いただいた時期によっては、この研究の結果が論文などで公表されているなどで、あなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。もちろん、本研究の対象となることに同意されない場合でも、患者さんが診療上で不利益を被ることは一切ありません。

なお、ご不明の点がございましたら、いつでも研究責任者　京都医療センター　血液内科　藤田晴之（電話 075-641-9161）までお問い合わせください。本研究の研究計画書は、ご希望に応じて閲覧することができますので、ご希望される場合はご連絡ください。